

このたび、伊豆の国市観光協会（安田昌代協会長）とパン祖のパン祭実行委員会・杉山大一委員長）で実施する「パン祖のパン祭」が、静岡県コンベンションおもてなし大賞の優秀賞（第二位）に輝き、静岡市内のホテルにて県知事から表彰されました。

県が主催することおもてなし大賞は、県内で開催されたコンベンション（会合や催しなど）の中で、静岡県ならではの演出や独創性、話題性などに優れたものが毎年選ばれます。

『パン祖のパン祭』は、田方農業高校生による坦庵公の巨大オブジェ制作・展示、藤田弓子さんを起用したアトラクション企画・運営、全国高校生パンコンテスト創設などが高い評価を受けての受賞となりました。

3/5 パン祖のパン祭が受賞 県おもてなし大賞・優秀賞



県知事に表彰される杉山実行委員長と安田観光協会長

静岡交響楽団とチェロ、ピアノ、ソリストが響宴



「誰でも気軽にクラシック音楽を楽しむ」をコンセプトに、『第七回狩野川クラシックコンサート』響宴』を、アクシスカつらぎで開催しました。

ステージには、県内初のプロオーケストラ『静岡交響楽団』と、チェロ奏者の土山如之さん、ピアノ奏者の大村奈緒美さん、ソプラノ歌手の加藤和子さんと小林教子さんら、地域にゆかりの音楽家が出演。モーツァルトやハイドンなどみんなが知っているクラシック音楽の巨匠の楽曲を演奏しました。

会場には親子優先席も設置し、子どもからお年寄りまで幅広い年代の聴衆・約五百五十人が、気軽に楽しくクラシックの名曲を楽しみました。

3/8 親子も名曲楽しむ 狩野川クラシックコンサート

2/22 「伊豆は一つ」が合言葉 第二回伊豆マラソン大会



全面通行止めとなった大仁商店街を軽やかに走り抜ける参加者たち

伊豆ナンバー誕生一周年を記念した昨年の第一回よりもエリアを拡大し、三市一町を股にかけ行われた『第二回伊豆マラソン大会』（同実行委員会主催）。

今回は、三島市内を走る三kmコースと十kmコースと、伊豆市・修善寺駅北からスタートし、伊豆の国市、函南町を通り三嶋大社をゴールとする二十一kmコースの計三コース・二十九部門が設定され、県内外から約

千六百人のランナーが参加しました。今回、修善寺駅前、田京駅前の県市道を全面通行止めにして実施された二十一kmコース。数多くのランナーが、大仁地区の町並みを走り抜け、葦山地区では雄大な富士山を眺めながらマラソンを楽しみました。

また、大会の運営にあたっては、「伊豆は一つ」を合言葉に、日大三島の学生や三市一町のボランティアら、多くの人が力を合わせました。

2/17 道路美化に貢献を NPOサブライズが同意

県と市は、道路などまちの美化をおこなう住民団体の活動を『しずおかアダプトロードプログラム（道路の養い親制度）』と名付け、積極的に支援しています。

伊豆の国市では既に小坂緑化美化委員会と小坂第一花の会の二団体が活動中ですが、新たに二月十七日、NPOサブライズ（飯倉清太代表）と同意書を取り交わしました。この団体は、美化活動に関心のある人たちがインターネット上で集まり結成されたNPO団体で、以前から伊豆半島各地で美化活動に取り組んでいました。今回の同意によりNPOサブライズは、伊豆長岡駅から長岡交差点（華の湯前）の県道の美化清掃を行うことになりました。



アクシスカつらぎ前を清掃するNPOサブライズ

3/10~11 黄色い坦庵走る 国文祭PRラッピングバス



たった一台のラッピングバスにあなたは出会えるか？

『第二十四回国民文化祭・しずおか2009』伊豆の国のスタートまで、あと二百六日と迫りました。

開催に向けて、さまざまな場所や印刷物、グッズ等での宣伝が始まっています。そのひとつがこの『ラッピングバス』。伊豆箱根バスの側面と後部を明るい黄色でカラーリングし、国民文化祭の伊豆の国市イメージキャラクター・江川坦庵公とふじっぴーのイラストを大きく描いた、一目みたら忘れない広告です。

バスは、国文祭が終わる十一月まで県東部の各路線を日替わりで走りますが、実は全路線バス六十五台の中でたったの一台。このバスに出会った日は、いいことが起こるか？

PICK UP! 江川邸の美再発見 新緑の内庭を期間限定公開

重要文化財・江川邸では、四月二十五日（土）から五月六日（水）まで、期間限定で内庭を公開します。

普段は入ることのできない内庭に鮮やかな新緑に彩られた庭は、秋の紅葉とはひと味違った情緒があります。さわやかな春の風といきいきとした緑の中、歴史深い江川邸で、心穏やかなひとときを過ごすしてみたいかがでしょうか。

とき 四月二十五日（土）～
五月六日（水）の九時半～十六時
江川邸入場料
一般三百円（市民百五十円）、
小中学生百五十円（市民八十円）
問合せ 江川邸公開事務局
電話055(940)2200



秋とはひと味違った、新緑の美しい江川邸内庭

2/21~2/22 一足先に春到来 おおひと梅まつり

大仁梅林と大仁神社境内で、『おおひと梅まつり』を開催しました。

今年は暖冬の影響で、一週間前に梅がピークを迎えていたため、開花状況は下り五分咲き程度。しかし晴天に恵まれたため、二日間で計千三百人と、例年以上の来場者でした。

神社境内の庁屋では雅楽と神楽、詩吟、大正琴などが披露され、また会場では写生大会やウオーケラリー、腕相撲大会なども行われ、来場者を楽しませました。

もちろん、毎年恒例の無料配布も行われ、梅林内では甘酒が、境内では梅アイスや梅菓子などが振る舞われました。

会場を訪れた人たちは、一足先に春の賑わいを楽しんでいました。



梅林を散策し、サービスの甘酒を楽しむ来場者